

同志社大学大学院アメリカ研究科廃止の事由及び時期並びに学生の処置方法を記載した書類

1. 廃止する研究科の概要

(1) 廃止する研究科・専攻名及び定員

アメリカ研究科アメリカ研究専攻

博士前期課程（入学定員：15人，収容定員：30人）

博士後期課程（入学定員：10人，収容定員：30人）

(2) 当該研究科の所在地

京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地

(3) 学生募集の停止の時期

平成22年4月1日

2. 廃止の事由

同志社大学大学院アメリカ研究科アメリカ研究専攻は、平成22年度のグローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻の設置に伴い、平成22年4月1日より学生募集を停止した。同専攻博士前期課程は、学生がいなくなったため平成24年3月31日をもって既に廃止している。博士後期課程においても、平成29年度春学期末（平成29年9月20日）をもって在学生在がいなくなったため、研究科を廃止する。

3. 学生の処遇

平成29年9月20日までに修了，退学及び除籍として学籍異動処理を完了し，在学生在はいない。なお，平成21年度末に在学していた学生の平成29年9月20日までの状況は，以下のとおりである。

[アメリカ研究科アメリカ研究専攻博士前期課程（平成24年3月31日廃止）]

平成22年3月31日現在の在学者数	24名
平成22年3月31日以降の復学・再入学者数	0名
合計	24名のうち
修了	22名
退学・除籍	2名

[アメリカ研究科アメリカ研究専攻博士後期課程（平成29年9月20日廃止）]

平成22年3月31日現在の在学者数	14名
平成22年3月31日以降の復学・再入学者数	0名
合計	14名のうち
修了	3名
退学・除籍	11名

4. 教職員の処置

アメリカ研究科学生募集停止後の教職員組織は学生募集停止時にグローバル・スタディーズ研究科に引き継がれており、今回の研究科廃止に伴う処置は発生しない。

5. 施設設備の処置

アメリカ研究科学生募集停止後の施設・設備は学生募集停止時にグローバル・スタディーズ研究科に引き継がれており、今回の研究科廃止に伴う処置は発生しない。

6. 学籍関係書類の保存方法

学籍関係書類はグローバル・スタディーズ研究科・アメリカ研究所事務室にて保存・管理を行う。

7. 廃止の時期

平成29年9月20日